

第1学年 生活科学学習指導案

日時：令和元年10月29日（火）2限

1. 題材名 さがのせきはっけん ～たくさん見つけよう さがのせきを～

2. 本時のめあて

校区探検で気づいた校区内にある危険が予想される場所について、どのような危険があるかを考えることを通して、避難場所までの経路や危機回避の行動に気づくことができる。

3. 学習計画（7時間×5回 35時間）

時	学習内容
1時 (2時間×5回)	○行ったことのある場所をみんなで出し合い、知らない場所へ探検に行きたいという意欲をもつことができる。
2時 (2時間×5回)	○公園や通学路を歩いて自然の草花や人・建物などを発見し、グループで協力してまとめ・整理することができる。
3時（本時） (3時間×5回)	○探検で見つけたことを、言葉や写真を使ってグループで紹介し合うことで、佐賀関の良さに気づく。

4. 本時案

学習活動	教師の意図と働きかけ	評価の観点
1. 本時のめあてをつかむ		
	【課題】 学校のちかくには、どんな「きけん」があるかな。	
2. 見つけた場所が危険と思う理由を出し合う	○校区探検で見つけた危険な場所・安全な場所と、そう思った理由を発表させる。  雨が降ると、土砂崩れが起きそうなところが危険 海拔2m～6mのところは、津波がきたら危険 避難場所や海拔を知らせる看板があって、安心 坂や階段に手すりがついていて、お年寄りが安全 避難場所が2か所あって、安全	
3. 避難場所までの経路を確認する	○危険が予想される場所から、避難場所まではどうすれば安全に避難できるかを確認し、危機回避の行動について出し合う。	
	【まとめ】 どしゃくずれや、じしん・つなみがおきたときに「きけん」なところがある。 あぶないところにちかづかない。 じしんのあとには、くずれそうなところにちかづかない。	【思考力・判断力・表現力】 危険な場所での行動や、避難の仕方について考えようとしている。
4. 学習の振り返りをする	○危険が予想される場所と自分たちが考えた危機回避の行動を振り返る。	